授業科目　カウンセリング技法

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・スポ・看護
高森美紀子	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

「カウンセリング論」で学習した基本的な事項をふまえ、ソーシャルワーカーとして多種多様なカウンセリング技法のあることを知識として得る必要がある。カウンセリング技法に精通する以前の課題として、ソーシャルワーカー自身が自己一致していることが肝要と考えるので、学生自身の生活体験を通して、自己理解を深めることを目標とする。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．社会福祉におけるカウンセリングの意義を理解できる。
2．自己一致を理解できる。
3．カウンセリングの諸技法を知る。
4．カウンセリングを学び続ける動機付けを明確にできる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	行動と感情		講義・ワーク
2	自己理解と交流分析		講義・ワーク
3	同　上		講義・ワーク
4	神経言語プログラミング		講義・ワーク
5	同　上		講義・ワーク
6	ゲシュタルト療法		講義・ワーク
7	同　上		講義・ワーク

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書（必ず購入する書籍）	臨床にいかす心理療法	白井幸子	医学書院	2004年	2,310円
参考書	わかりやすい交流分析	杉田峰康	チーム医療	1983年	1,030円
	よりよい人間関係とコミュニケーションスキル	エーブ・ワグナー	チーム医療	2000年	1,890円
	エンプティチェアテクニック入門	百武正嗣	川島書店	2004年	1,470円
その他の資料					

【評価方法】
授業態度（ワークへの参加意欲・態度）
レポート

【履修上の留意点】